

令和3年度 英語学習実施状況について

金沢市立大野町小学校

①小学6年生 英語学習についてのアンケート(令和4年1月実施)

(%)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語の勉強が好きだ。	50.0	25.0	15.0	10.0	0
問2	英語の勉強は大切だ。	65.0	20.0	10.0	5.0	0
問3	ショートタイムの時間は英語の勉強に役立っている。	20.0	50.0	15.0	15.0	0
問4	英語の授業の内容がわかる。	40.0	50.0	10.0	0.0	0
問5	英語で先生や友達に質問することができる。	10.0	40.0	35.0	10.0	5.0
問6	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	15.0	50.0	30.0	5.0	0.0
問7	アルファベットの大文字が書ける。	70.0	15.0	15.0	0.0	0.0
問8	アルファベットの小文字が書ける。	65.0	5.0	15.0	10.0	5.0
問9	教科書やピクチャーディクショナリーの単語や英文を書き写すことができる。	65.0	10.0	20.0	5.0	0.0
問10	教科書の単語や英文を読むことができる。	45.0	25.0	30.0	0.0	0.0

②指導改善の具体策(令和4年2月実施「英語教育に関する報告書」より)

- ・英語が楽しいと思う児童の割合を増やすように、児童にとって分かりやすく、「とにかく英語を話したい」「コミュニケーションをとりたい」と思えるような授業を、全校で共通実践できるようにする。
- ・単元の初めに単元のゴールをイメージさせ、ゴールに必要な表現などを考えさせ、単元の見通しをもたせる。
- ・基本の表現を練習する時間を十分に確保し、自信をもってコミュニケーションに臨めるようにする。既習の表現やコミュニケーションスキルを加えながら、楽しくコミュニケーションができるようにする。

③学校関係者評価

- ・英語の学習は大切である。「アルファベットの大文字が書ける」70%、「アルファベットの小文字が書ける」65%の数値を見て、子ども達は、英語に興味があることが分かった。学習しようという意欲が伝わる。
- ・英語に興味や理解のある児童が多い。読み書きに比べ、会話になると肯定的な回答が少ない。中学校で本格的な英語教育が始まるにあたり、中学校側は小学校の段階で何をどの程度習得してほしいと思っているのか、小中連携して取り組んでいければよい。
- ・英語が好き、大切だと思っている児童が多くいるのは良い。ノー日本語デイを設けて、外国の方を招いて英語に慣れる、親しむ授業を行ってはどうか。